

事業計画書

事業名	美笹ハンノキ自然園復活活用事業
実施箇所	佐久市美笹湖周辺エリア（佐久市前山1905-1311）
実施期間	事業開始予定年月日 平成30年年 4月 1日
	事業終了予定年月日 平成31年 2月 28日
事業概要	<p><事業の目的> 旧美笹自然観察園は、すでに木道は完全に傾斜し腐り使用に耐えられませんでしたが、草友会は、平成26年以降、順次改修し、安全に利用できるようになりました。また、植生調査の結果、貴重な植物が生息していることも判明しました。会員はもとより市民にもこの豊かな自然を観察できるよう、観察道の安全確保、植物の解説、市民への公開観察会の実施、さらに植物の保全が事業目的です。</p>
	<p><事業の内容> 平成30年度事業 1) 歩道および木道の保全 2) 植生調査 3) 植物銘板の設計および取り付け 4) 観察会の実施 5) トイレ清掃 今回申請は、観察新道の湿地対策対策、観察園内道路案内看板、植物銘板作成および更新費用、観察道整備(草刈りが主)費です。</p>
	<p><事業の効果・アピールポイント> 平成26年度から活動してまいりました同園の保全および活用は年々充実し、ようやく安全に観察できるようになりました。会による植物の観察会や個人が散策する姿が多く目にするようになりました。 サクラソウおよびベニバナイチャクソウを目玉として、市民に園内の植物観察会を実施し好評を博してまいりました。信濃毎日新聞にも取り上げられ、近隣からの観察者も増加しております。 佐久地方では唯一とあってよい自然のままの湿地帯です。末永く保存していきたいと思えます。 ・本年度観察会は、サクラソウ観察会を5月13日と、ベニバナイチャクソウの観察会を6月3日に予定しております。</p>

4月	美笹湖周辺道整備(14日)、観察道整備(木道傾斜補修、木道清掃、植物銘板更新(21日))
5月	サクラソウ観察会(公開、12日)、
6月	観察道草刈り、ウバユリ食害対策(2日)、ベニバナイチヤクソウ観察会(8日)
7月	行事無し
8月	観察道草刈り、
9月	会員の観察会(8日)観察
10月	行事無し
11月	行事無し
12月	行事無し
1月	行事無し
2月	行事無し
3月	総会
年間	植生観察、見回りおよび風倒木整理、トイレ清掃等は随時実施

<p>活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 (事業の対象者・参加予定人数も記載)</p>	<p><「公益性」の視点> 園内の自然観察会をサクラソウおよびベニバナイチャクソウを目玉として年2回実施する予定です。参加人数はおおよそ70名を予測しております。また、草友会および公民館主催の観察会も計画されております。 この自然園は、植生の観察のためであり、できる限り自然のままの植物を見ることが大切です。その代表的な植物が少なくなったハンノキ林であり、長く保全することが必要です。また、いくつかの絶滅危惧種もあり、自然を保ちながらその盛衰も見守るつもりです。</p>
<p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p>	<p><「自立性」の視点> この事業は、浅間公民館活動グループの草友会が平成26年度に同園の使用許可を得て立ち上げました。 園の保持には、毎年、傷んだ木道や銘板の保全をしていかなければなりません。また、観察しやすいよう観察道の除草も欠かせません。年々、維持費が生じてまいります。今までは、活動資金として会員のメンバーが園内の植物暦を発行し販売して得た利益の寄付により運営しております。この資金が尽きるまでに活動意義を整理し、企業寄付の協力を得られるよう計画します。 本園は、植生の調査・保全および教育の場でもあります。幸い、熱心な会員と指導先生に恵まれており問題ありません。しかし、市の財産である同園は市民の利用増大を図らなければなりませんので、多くの一般会員の参加が求められます。市民参加型団体へと変革してまいります。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>以降の活動内容は、基本的に本年度と同じですが、内容を更に深めて充実させます。今後の最大の課題は安定的な収入源を図ることです。各種補助金制度の探索や、この活動に賛同していただける企業等からの支援、会員の会費調達などを検討します。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>安全で、自然観察ができる状態を作り、多くの市民に活用していただくことです。教育現場にも働きかけていきます。 財源や安定した活動を確保することで、自然園としての価値を上げることを目標としています。</p>